

# 福島第一原子力発電所現地確認報告書

## 1 確認日

令和7年8月5日（火）

## 2 確認箇所

- ・No. 3、4重油タンク跡地周辺（5・6号機南東側）（図1）
- ・モニタリングポスト（No. 1～2）（図1）

## 3 確認項目

- （1）サプレッションプール水サージタンク周辺における油含有土壌対策の状況
- （2）敷地境界モニタリングポストの周囲の状況

## 4 確認結果の概要

### （1）サプレッションプール水サージタンク周辺における油含有土壌対策の状況

平成23年3月に発生した東日本大震災の津波により、5・6号機のサプレッションプール水サージタンク（以下「SPT」という。）及びNo. 3、4重油タンク（令和3年3月撤去済）が損傷を受け、油が流出し、周辺土壌に浸透した。周辺土壌からの港湾への重油漏えいは確認されていないが、東京電力は、重油タンク周辺の油含有土壌対策工事を計画している。

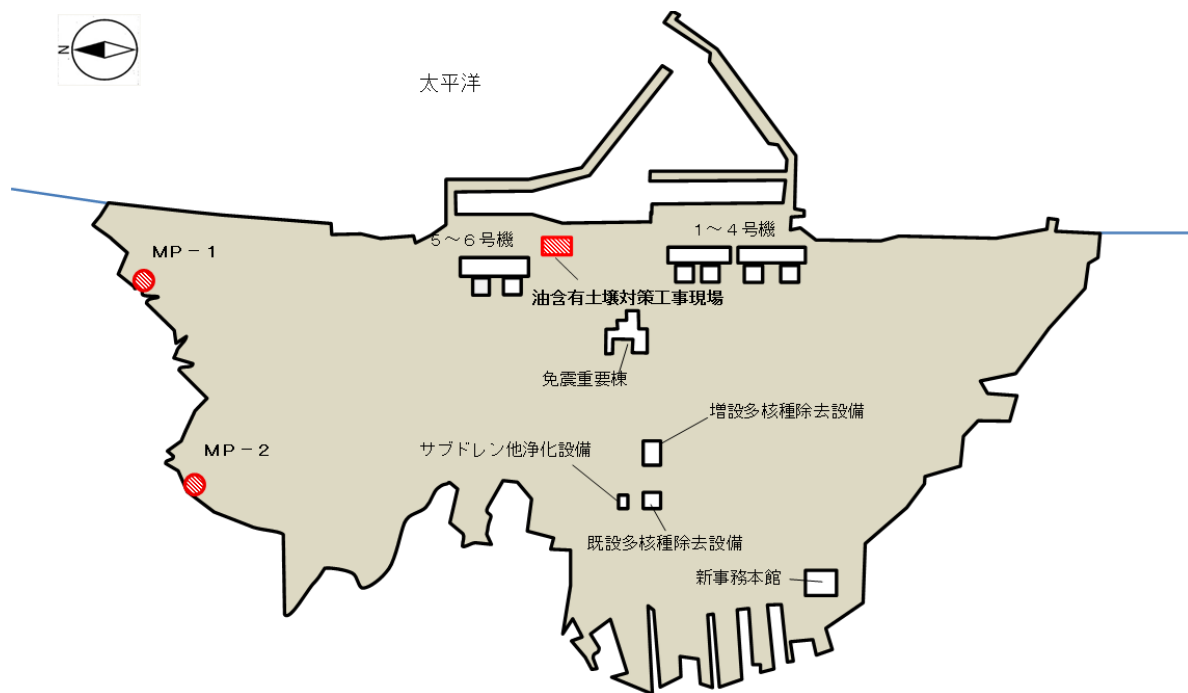
今回は、油含有土壌対策工事に干渉するSPTポンプ室の撤去状況及び当該エリアの状況を確認した。（前回確認：令和7年6月12日）

- ・SPTポンプ室の内部の設備等は撤去されていたが、外壁は撤去されていなかった。（写真1）
- ・当該エリアの北側において油含有土壌対策工事に伴う試掘工として掘削作業が行われていた。（写真2）
- ・港湾にはオイルフェンスが設置されており、確認した範囲では港湾への油の漏えい等は認められなかった。（写真3）

### （2）敷地境界モニタリングポストの周囲の状況

福島第一原子力発電所の敷地境界付近には、モニタリングポストが8か所設置されている。今回は、これらのモニタリングポストのうち、敷地境界の北側に設置されているモニタリングポスト（No. 1～2）の周囲の状況等を確認した。（前回確認：令和6年9月3日）

- ・モニタリングポストNo. 1及びNo. 2は周辺監視区域の内側に設置されており、モニタリングポストNo. 1及びNo. 2に設置された線量表示器の指示値はそれぞれ0.5μSv/h、0.6μSv/hであった。この値は東京電力がHPで公表している値と一致していた。（写真4）
- ・モニタリングポストの周囲に、放射線量測定障害となるものはなかった。また、確認した範囲でモニタリングポストの外観等に異常は確認されなかった。（写真5）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1) SPTポンプ室の外観



(写真1-2) SPTポンプ室の内部



(写真2) 試掘工の状況



(写真3) 港湾の状況



(写真4-1)モニタリングポストNo. 1の  
線量表示器の指示値



(写真4-2)モニタリングポストNo. 2の  
線量表示器の指示値



(写真5-1)モニタリングポストNo. 1の  
状況



(写真5-2)モニタリングポストNo. 1の  
空間線量率測定器



(写真5-3)モニタリングポストNo. 2の  
状況



(写真5-4)モニタリングポストNo. 2の  
空間線量測定器

## 5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。